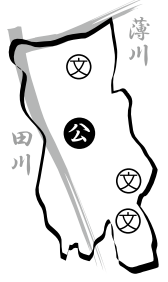


館報

庄内



庄内地区	
平成27年9月1日現在人口	
世帯数	6,753戸
男	7,473人
女	7,465人
合計	14,938人
発行 庄内地区公民館 (ゆめひろば庄内)	
電話 24-1811	
FAX 24-1812	

子どもたちの夏まつり

やまびこ子どもまつりが七月二十五日に開催されました。筑摩小学校・並柳小学校・源池小学校の庄内地区の通学区分の児童が集まり、企画と運営は小学生が主体となって実施し、大勢の児童や大人でにぎわいました。

地区の青年会の皆さんも協力してくれ、また開成中学や信濃むつみ高校の生徒も参加して大きな輪になりました。

私はやまびこ子どもまつりに参加して、「いろんな人の視点で見られているお祭りなんだな」と感じました。信濃むつみ高校がこのお祭りに参加するのは2回目。前回はバルーンアートを企画し大盛況となりました。今回はお化け屋敷を企画することになり、まず高校生たちが集まり、コンセプトを決めました。話し合いを重ねた結果、お客さんにお札を配り、神社にお札を奉納するまでにお化けが待ち受けている形式に決定しました。ここからお化け屋敷を企画している小学生と一緒に神社やお墓を作りました。このとき公民館や育成会

の材料や飲み物などの提供をしてくださり、皆で集中して取り組みました。当日にはお化け役の小・中学生もそれぞれ準備をしてお祭りが始まりました。お化けたちも精一杯奮



最初はきんちょうじてい

お化け屋敷を作って

私は、はじめてお化け屋敷を作りました。

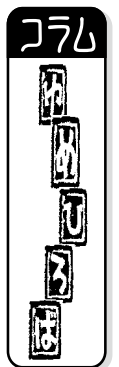
かし、お客さんを驚かせていました。お客さんの中には泣いてしまう人もいて、可哀想だと思っ反面、皆で努力して作ったお化け屋敷の成功を感じました。私は、このお祭りが成功したのは、小学生から大人まで考えかたの違う人たちが、一つの目標に向かい協力できたからだと思います。お祭りに参加した皆さんありがとうございました。

たけれどだんだんなれてきて、信濃むつみ高校の人たちといっしょにいろんなアイデアをだしあいながら、本番までにまにあうか不安だったけど、楽しくできましたし、本番までがんばって完成したのでよかったです。

当日、私は後半にお化け役をやりました。少しきんちょうじていて最初のうちはうまくできませんでしたが、二回三回とやってみると、意外とできるようになりました。意外とこわがらない人もいたけどとても楽しかったです。

お化け屋敷を作るといふことは、もうないかもしれないのでとてもきんちょうじていたのだと思うし、みんなで協力をして、楽しく仲良く作れたので、よかったですと思います。夏休みのいい思い出になったと思います。

筑摩小学校六年 中島凜乃



ふるさとを離れてから、もう二十五年余り信州の気候にすっかり身体が慣れてしまっている私は、ふるさとの夏がもう受け付けなくなっている。したがってお盆の墓参りに何年も行っていない。墓で待つている両親には、悪いと思いつつ姉に頼りっぱなしの状態なのである。でも優しい両親の事だから私の気持ちもきつと解って許してくれているとプラスに考えている。そんな時、私の頭を過るのが決まって皆も一度は耳にした事があると思うあの歌!!「千の風になって」なのである。そこに私はいません、秋は光りになって冬はダイヤのようになり、朝は鳥になって、夜は星になって、あなたを見守る、千の風になって、大きな空を吹きわたっています。そう、この歌詞に私は何度か何度も救われているのです。いつもごめんねと言う私の心は天国に届いていますか? そちらに逝った時は、手を取り合っ、子供や孫の空を仲良く飛び回り、幸せを願ってあげましようね。

(K)

わが町の防災

逢初町町会

ここ数年取り組んでいることは防災設備・用具の充実と防災訓練の継続の実施です。

松本市・共同募金会の補助金を利用し、テント・折りたたみ式リヤカー・救助資材工具セット等を購入し備蓄しています。また、発災時に町会内の企業と連携し、自家発電機・投光機・破砕用具等を借用することになっています。

防災訓練は初動を重要視し避難・安否確認訓練を毎年実施しています。隣組毎に「安否確認調査票」を配布し、隣組長が世帯毎に家族数・要援護者を把握しようとしています。訓練時に町会一時避難場所に集合し、安

「庄内地区まちづくり協議会 防災委員会」の取り組み

庄内地区まちづくり協議会は今年度、2年目となる「防災」と、協議会・専門委員会の活動内容等に係る幅広い「情報発信」の2つのテーマに取り組んでいます。特に「防災」への取り組みは、地区内外6カ所の指定避難所ごとに、来年度以降実施予定の避難所運営訓練に向け、条件整備を進

否確認を行うものです。

年々活動レベルを上げてはいますが、まだ不十分です。より具体的な防災マニュアルの作成、それに基づく防災訓練の実施、また地区防災との連携等多くの課題があります。

防災は「自助・共助（近助）・公助」が大切だと言われま



並柳団地

並柳団地町会には、平成23年まで自主防災会がなく、この年に防災・防犯部長になった私は、自主防災会を立ち上げてくれと当時の町会長に依頼されました。規約等々を作成し、市に書類を提出したのが6月中旬で、やっと一安心していた時にまさかの6月30日松本南部を震源とする地震が発生しました。

当団地も建物自体には大きな被害はありませんでしたが、建物の中は足の踏み場がないくらい家具は倒れ、大変だった事を今でも覚えております。家の事は家族・親族に任せ、町会の被害調査に走りまわりました。当時、防災会を立ち上げたばかりで機材もなくレンタル会社に借りに行ったり大変だった事は今でも忘れません。また、夜になると一人暮らしや外国人の方が家で寝るのが怖いと公民館を開放した事もありました。

昨年からは防犯会を立ち上げて4年、現在は防犯会を知ってもらおう事を重点におき、団地管理者の県公社と共催で消火器を使用した訓練などを始めました。住民の防災意識を高め、資機材等を充実させ、本格的な訓練など行えるようにしていきたいと思えます。

筑摩東公民館

筑摩東町会には、1956年（昭和31）に発足し、公民館は1972年、松本市より旧県職業訓練所の建物と土地を購入し、立ち上げました。建物は築74年です。

公民館の稼働状況は、町会の各種行事や多くの同好会など、利用率は60〜70%です。

それぞれ公民館活動の目的に沿って地域住民を主体に親睦を深めつつ活用しております。

公民館内環境は7年前にエアコン設置、4年前に大広間

の床を畳からカーペット付板張りに替え、快適で使い易いように改善致しました。公民館外環境は、土地の余裕もなく、駐車場もままならぬ状況でありましたが、数年前より町会関係者の努力と地主様の絶大なご協力を受け、更に地域住民の理解と協力により、昨年北隣接地を購入取得しました。

当面は駐車場として使用し、その先は次世代への発展に繋がりたいと考えております。

また、取得地北側土手法面境界線上に石積みし、花壇を設け、四季の草花が楽しめるよう推進中であります。

わが町の公民館

庄内町公民館は、「町会と町内公民館は車の両輪と同じようでないといけない」との考え方を町会長も私も持っています。その為なるべく町会長の負担を軽減するために公民館は公民館独自で行事を考え行っています。

3年前に公民館運営委員会を立ち上げ、委員は若い人から年配者と幅広く、意見も出やすくし、気楽に意見を言える委員会を目指しています。

今まで行った行事は、映画会・防災&地域づくりの講演会・スポーツ吹矢体験会・野菜の詰め放題の秋の収穫祭・生ビール飲み放題の納涼祭など多数あります。周知方法、役員だけしか集まらない等問題点もあります。今年度、町会と一緒に進めていかなければならない事は誰もが気楽に集まれる場所、「公民館」を目指して、特にお年寄りの方が集まれる『サロン』をどうやって進めて行くか思案中です。

庄内町公民館